

冬ふゆが来きた

高村光太郎たかむらこうたろう

きつぱりと冬ふゆが来きた  
八やつ手での白しろい花はなも消きえ  
いちようの木きもほうきになつた

きりきりともみ込こむような冬ふゆが来きた  
人ひとにいやがられる冬ふゆ  
草木くさきに背そむかれ、虫類むしるいに逃にげられる冬ふゆが来きた

冬ふゆよ

僕ぼくに来こい、僕ぼくに来こい  
僕ぼくは冬ふゆの力ちから、冬ふゆは僕ぼくの餌食えじきだ

しみ透とおれ、つきぬけ  
火事かじを出だせ、雪ゆきで埋うずめろ  
刃物はもののような冬ふゆが来きた